



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月7日

上場会社名 ヒラキ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3059 URL <http://company.hiraki.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 向畑 達也
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営戦略室長 (氏名) 姫尾 房寿 (TEL) (078) 967-4601
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月12日
 配当支払開始予定日 平成26年12月3日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績 (平成26年4月1日～平成26年9月30日) (百万円未満切捨て)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	8,644	△10.2	167	△29.3	80	△69.6	40	△74.7
26年3月期第2四半期	9,625	△8.7	236	△16.8	264	86.0	160	78.1

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 100百万円 (—%) 26年3月期第2四半期 △21百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	8 36	—
26年3月期第2四半期	32 97	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	18,486	4,663	25.2
26年3月期	17,619	4,612	26.2

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 4,663百万円 26年3月期 4,612百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	10 00	—	10 00	20 00
27年3月期	—	10 00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	10 00	20 00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想 (平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,000	△5.0	500	△35.5	400	△49.6	200	△48.9	40 98

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

- 新規 — 社(社名)、除外 — 社(社名)
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期2Q	5,155,600株	26年3月期	5,155,600株
27年3月期2Q	274,630株	26年3月期	274,630株
27年3月期2Q	4,880,970株	26年3月期2Q	4,880,996株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成26年4月1日～平成26年9月30日）におけるわが国経済は、引続き緩やかな回復基調で推移し、個人消費における消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動も和らぎつつありますが、一方では、一部の弱い動きもみられるようになりました。ディスカунターとしての当社をとり巻く経済環境におきましても、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動に加え、消費税率引上げにより一般消費者層の日常消費における節約志向が根強く、厳しい状況で推移いたしました。

このような環境のもと、当社グループは、強みである「靴」を中心とした「商品力の強化」、そして「商品力」を売上へとつなげる「現場力の強化」に継続して取り組み、事業展開を進めてまいりました。

通信販売事業におきましては、無料設置カタログ増設の継続、通販WEBサイトの強化などの施策を中心に、ヒラキの認知度向上および、新規顧客獲得に努めました。通販WEBサイトに関しましては、従来のカタログ冊子の延長とは捉えず、WEBサイト限定商品の展開、WEB新規会員割引キャンペーンの実施、スマートフォンサイトの買い回りの向上、さらには、まとめ買い商品の割引キャンペーンなど、WEB機能を活かし、お客様に「驚き・楽しさ・満足感」を実感して頂ける通信販売の実現に取り組んでまいりました。商品につきましては、秋冬の装いの新色を追加した『842円 ソフトボアブーツ』を昨年より値下げ価格にて投入したほか、スエード調素材を新たにラインアップに加えた『734円 レディースカジュアルシューズ』を投入いたしました。さらに、インヒールシューズをボアブーツからカジュアル、スニーカーまで幅広く低価格にて展開し、いずれも価格を抑えながらもそれ以上の満足感をお届けする商品を投入してまいりました。

ディスカウント事業におきましては、岩岡店では「日本最大級の靴売場」、各支店では「圧倒的な地域一番の靴売場」を目指し、靴を中心としたバラエティ・ディスカウント・ストアとしての差別化に取り組んでまいりました。圧倒的な安さを実現した自社開発商品の展開をさらに強化するとともに、定期的な『特価大商談会』の開催による特価商材の安定的な確保により収益力を強化してまいりました。また、岩岡店の大規模修繕を実施し、集客力の向上に取り組んでまいりました。

卸販売事業におきましては、靴販売店向けカタログ『大卸』、およびOEMによる大口先卸販売を収益の柱として引き続き取り組んでまいりました。

このような取り組みにもかかわらず、主に消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動、さらには地方を中心とした個人消費の低迷が影響し、当第2四半期連結累計期間における連結売上高は86億4千4百万円（前年同四半期比10.2%減）となりました。

利益面につきましては、通信販売事業を中心に更なるローコストオペレーションの実施、ディスカウント事業における自社開発商品の拡販、および仕入先政策の強化による粗利益率の改善に取り組みましたが、売上高の減少を補うまでにはいたらず、当第2四半期連結累計期間における営業利益は1億6千7百万円（前年同四半期比29.3%減）と減益の結果となりました。経常利益は、為替差損益、デリバティブ評価損益などの影響から8千万円（前年同四半期比69.6%減）、四半期純利益は4千万円（前年同四半期比74.7%減）となりました。

当社グループの報告セグメントの当第2四半期連結累計期間における業績は次のとおりであります。

① 通信販売事業

通信販売事業におきましては、無料設置カタログなどの効果により新規顧客数は伸ばしましたが、有効顧客数の増加にまでは至らず、売上高は42億9千万円（前年同四半期比9.8%減）となりました。利益面では、広告宣伝活動における効果的な媒体への絞り込み、さらに物流業務の効率化に引き続き取り組み、セグメント利益（営業利益）は4億3千8百万円（前年同四半期比4.2%増）となりました。

② ディスカウント事業

ディスカウント事業におきましては、自社開発商品をより一層充実させたことにより、靴を中心とした一部の商品においては売上高の落ち込みを最小限にとどめることができましたが、消費税増税に伴う日常消費の低迷が大きく影響し、売上高は41億9千3百万円（前年同四半期比10.0%減）となりました。利益面では、仕入先政策の強化、自社開発商品の拡販などによる粗利益率の改善により、売上総利益の落ち込みを小幅に抑え、さらに作業効率化による人件費削減などに努めましたが、売上高の減少を補うまでには至らず、さらに、岩岡本店の大規模修繕に係る経費（96百万円）増から、セグメント損失（営業損失）は5千6百万円（前年同四半期は2千3百万円の利益）となりました。（なお、当第2四半期連結累計期間に実施した大規模修繕を先行投資として考慮した場合、セグメント利益は3千9百万円の利益となります。）

③ 卸販売事業

卸販売事業におきましては、靴販売店向けカタログ『大卸』の売上高が増加する一方、大口OEM販売先については、新規取引先数を伸ばすものの既存取引先との取引が伸び悩み、売上高は1億6千万円（前年同四半期比23.3%減）、セグメント利益（営業利益）は1百万円（前年同四半期比88.4%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

（資産、負債および純資産の状況の分析）

① 資産

流動資産は、前連結会計年度末に比べ、9億7千万円増加し、113億9千4百万円となりました。これは、現金及び預金が9億4千9百万円、商品が4億6千1百万円増加し、受取手形及び売掛金が4億3千4百万円減少したこと等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ、1億3百万円減少し、70億9千1百万円となりました。これは、建物及び構築物が8千9百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて、8億6千7百万円増加し、184億8千6百万円となりました。

② 負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べ、3億8千6百万円減少し、44億8千1百万円となりました。これは、1年内返済予定の長期借入金が1億3千2百万円増加し、買掛金が1億8千8百万円、未払法人税等が2億4千8百万円減少したこと等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ、12億2百万円増加し、93億4千1百万円となりました。これは、長期借入金が11億7千9百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ、8億1千5百万円増加し、138億2千2百万円となりました。

③ 純資産

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ、5千1百万円増加し、46億6千3百万円となりました。これは、繰延ヘッジ損益が5千7百万円増加したこと等によるものであります。自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ1.0ポイント減少し25.2%となりました。

（キャッシュ・フローの状況の分析）

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）の残高は、「財務活動によるキャッシュ・フロー」で得られた資金を、「営業活動によるキャッシュ・フロー」および「投資活動によるキャッシュ・フロー」で使用した結果、前連結会計年度末に比べ4億5千1百万円減少し、23億9千7百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各活動によるキャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、2億6千3百万円（前年同四半期は2億7千4百万円の獲得）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益8千万円の計上、売上債権の減少4億3千3百万円、たな卸資産の増加4億8千7百万円、仕入債務の減少1億8千6百万円、法人税等の支払額2億5千5百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、14億2千6百万円（前年同四半期は26億4千2百万円の使用）となりました。これは主に、定期預金の預入による支出41億円、定期預金の払戻による収入27億円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、12億4千万円（前年同四半期は18億7千6百万円の獲得）となりました。これは主に、長期借入れによる収入27億円、長期借入金返済による支出13億8千7百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期業績予想に関しましては、本日別途開示の「業績予想と実績の差異および業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,349,962	5,298,965
受取手形及び売掛金	1,353,240	919,044
商品	4,265,567	4,726,914
未着商品	71,173	100,862
貯蔵品	18,049	14,972
繰延税金資産	129,888	62,805
その他	260,341	290,205
貸倒引当金	△24,243	△18,970
流動資産合計	10,423,979	11,394,800
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,505,759	3,416,561
土地	3,258,299	3,258,299
その他(純額)	176,562	164,826
有形固定資産合計	6,940,621	6,839,686
無形固定資産	95,970	83,838
投資その他の資産	158,772	168,315
固定資産合計	7,195,364	7,091,840
資産合計	17,619,344	18,486,641
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,071,053	882,712
1年内返済予定の長期借入金	2,460,644	2,593,306
未払法人税等	265,474	17,284
賞与引当金	154,699	151,254
役員賞与引当金	—	2,850
ポイント引当金	35,130	32,037
その他	881,313	802,285
流動負債合計	4,868,314	4,481,731
固定負債		
長期借入金	7,778,368	8,957,925
退職給付に係る負債	105,790	112,393
環境対策引当金	13,568	13,568
資産除去債務	30,376	30,651
その他	210,614	226,580
固定負債合計	8,138,718	9,341,119
負債合計	13,007,033	13,822,850

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	450,452	450,452
資本剰余金	1,148,990	1,148,990
利益剰余金	3,052,106	3,044,080
自己株式	△143,570	△143,570
株主資本合計	4,507,978	4,499,952
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,238	10,203
繰延ヘッジ損益	80,911	138,715
為替換算調整勘定	18,183	14,919
その他の包括利益累計額合計	104,332	163,838
純資産合計	4,612,311	4,663,790
負債純資産合計	17,619,344	18,486,641

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	9,625,734	8,644,763
売上原価	5,701,456	4,939,100
売上総利益	3,924,277	3,705,662
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費及び販売促進費	1,128,286	1,051,575
貸倒引当金繰入額	11,031	2,784
ポイント引当金繰入額	23,399	18,843
給料手当及び賞与	1,006,023	935,240
賞与引当金繰入額	157,173	151,254
その他	1,361,416	1,378,355
販売費及び一般管理費合計	3,687,331	3,538,054
営業利益	236,946	167,608
営業外収益		
受取利息	1,482	3,342
受取配当金	972	1,264
為替差益	47,564	—
その他	45,197	14,362
営業外収益合計	95,217	18,969
営業外費用		
支払利息	63,118	60,158
為替差損	—	17,882
デリバティブ評価損	—	23,275
その他	4,576	4,755
営業外費用合計	67,695	106,072
経常利益	264,468	80,506
税金等調整前四半期純利益	264,468	80,506
法人税、住民税及び事業税	91,290	10,178
法人税等調整額	12,274	29,544
法人税等合計	103,564	39,722
少数株主損益調整前四半期純利益	160,904	40,783
四半期純利益	160,904	40,783

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	160,904	40,783
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△280	4,965
繰延ヘッジ損益	△190,554	57,803
為替換算調整勘定	8,587	△3,263
その他の包括利益合計	△182,247	59,505
四半期包括利益	△21,343	100,288
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△21,343	100,288
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	264,468	80,506
減価償却費	158,778	152,607
貸倒引当金の増減額(△は減少)	2,868	△5,273
賞与引当金の増減額(△は減少)	△1,644	△3,444
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	3,812	2,850
ポイント引当金の増減額(△は減少)	352	△3,092
退職給付引当金の増減額(△は減少)	8,253	-
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	-	6,603
受取利息及び受取配当金	△2,455	△4,606
支払利息	63,118	60,158
為替差損益(△は益)	△26,154	-
売上債権の増減額(△は増加)	△19,947	433,128
たな卸資産の増減額(△は増加)	190,707	△487,959
仕入債務の増減額(△は減少)	△114,042	△186,575
その他	△24,625	3,833
小計	503,489	48,734
利息及び配当金の受取額	2,338	4,497
利息の支払額	△64,495	△60,946
法人税等の支払額	△166,654	△255,426
営業活動によるキャッシュ・フロー	274,678	△263,141
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△2,620,100	△4,100,600
定期預金の払戻による収入	3,100	2,700,000
有形固定資産の取得による支出	△20,724	△22,749
無形固定資産の取得による支出	△4,176	△1,695
投資有価証券の取得による支出	△1,624	△1,734
その他	1,273	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,642,250	△1,426,778
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	3,200,000	2,700,000
長期借入金の返済による支出	△1,255,540	△1,387,781
自己株式の取得による支出	△18	-
配当金の支払額	△48,880	△48,831
その他	△18,684	△23,148
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,876,876	1,240,239
現金及び現金同等物に係る換算差額	32,766	△1,915
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△457,930	△451,596
現金及び現金同等物の期首残高	2,339,705	2,849,262
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,881,775	2,397,665

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I. 前第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額(注1)	四半期連結損益計算書計上額(注2)
	通信販売事業	ディスカウント事業	卸販売事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,754,932	4,661,483	209,318	9,625,734	—	9,625,734
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	4,754,932	4,661,483	209,318	9,625,734	—	9,625,734
セグメント利益	420,469	23,459	9,554	453,483	△216,537	236,946

(注) 1 セグメント利益の調整額△216,537千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に現業支援本部等管理部門に係る一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II. 当第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額(注1)	四半期連結損益計算書計上額(注2)
	通信販売事業	ディスカウント事業	卸販売事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,290,612	4,193,691	160,459	8,644,763	—	8,644,763
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	4,290,612	4,193,691	160,459	8,644,763	—	8,644,763
セグメント利益又は損失(△)	438,305	△56,464	1,108	382,948	△215,340	167,608

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△215,340千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に現業支援本部等管理部門に係る一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。